

木と学ぶ ～ウッドスタディーハウス～



Background

学校施設における木材利用は、子供たちのストレスを緩和させ、授業での集中力が増す効果がある。木材は他にも血圧を低下させたり、インフルエンザや怪我の抑制効果などといった身体的にも良い影響がある一方で、リラックスできるなどの心理的な効果もある。

また、秋田市は図書館以外に勉強するスペースがあまりなく、特に高校生のテスト期間は駅のあらゆる多目的スペースが混雑する。私自身も高校生の時、テスト期間に友人と教えあいながら勉強するスペースがなく、困った経験がある。これらの背景から、学校や塾とは異なる、勉強やリモートワークのための施設での木材利用を提案する。

Location

秋田駅東口の屋外駐車場のスペースに設置する。秋田駅近辺はアクセスが良く、特に高校生は電車やバスりようするために毎日駅を訪れる人が多いことに着目し、電車やバスの待ち時間に気軽に立ち寄れる点を考慮した。そして、この土地は海から離れており、津波が押し寄せることは考えにくい。近くに土砂崩れが起こるような山もなく、安定している。そのため、緊急時には避難場所としても提供できる。そのような点を踏まえて、東口にも人の流れを作ることに加え、緊急時には役立つ、誰にでも利用しやすいこの位置に配置したいと考えた。



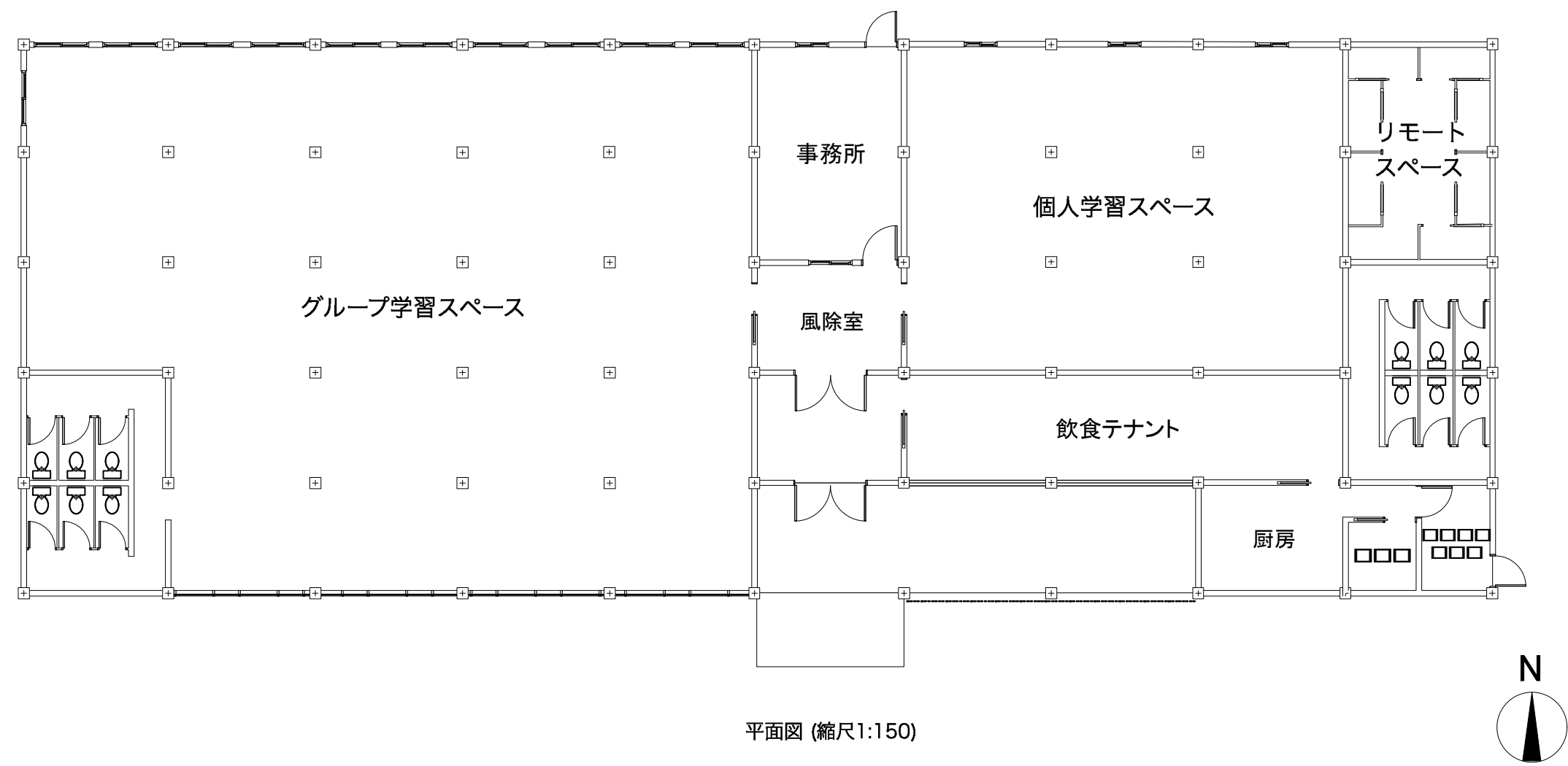
引用：Google map

Concept

このウッドスタディーハウスは、自宅では集中して学習できない、友達と教え合って学習したい、でも秋田には場所が限られている…という若者に向けた勉強するスペースの提案である。木の香りや明るさ、温かさに包まれながら学習することで、木が人間にもたらす身体的効果、心理的效果も期待できる。

秋田県の木材利用は近年多くの場所で見られ、能代市立二ツ井小学校の校舎は木造で建てられるなど、教育施設でも利用されてきている。また、秋田駅も秋田県の顔として木質化が進み、秋田らしい駅へと生まれ変わっている。このウッドスタディーハウスは、これからの社会を担う若者に木材の効果を利用した勉学に励める施設を提供すること、若者が暮らしやすい街づくりの一環として秋田県に活力を持たせるだろう。

Floor Plan



平面図 (縮尺1:150)

Advantage

木材を利用することの利点は非常に多く、次のような点が挙げられる。

- ・木の香りはストレスを和らげ、心も体もリラックスでき、教育的効果としても期待できる。
- ・木材は、湿度が高くなると水分を吸収し、低くなると水分を放出して室内の湿度を一定に保つ。
- ・木は視覚的にも感覚的にも他の材料と比べて柔らかく温かみのある材料であり、足にかかる負担も少なく、空間全体に明るい印象を与える。
- ・木材は再生産可能な生物材料であるため、永久に生産し続けることができ、地球温暖化の原因となっているCO2の排出を抑える。
- ・インフルエンザの蔓延が抑制される傾向がみられる。



木材を利用すること・学習における効果・地球環境
ウッドスタディーハウスはこの3点が組み合わさっている。

未来を担う若者・未来を考えた作り方は
木材を利用するからこそできることである。

Space Proposal

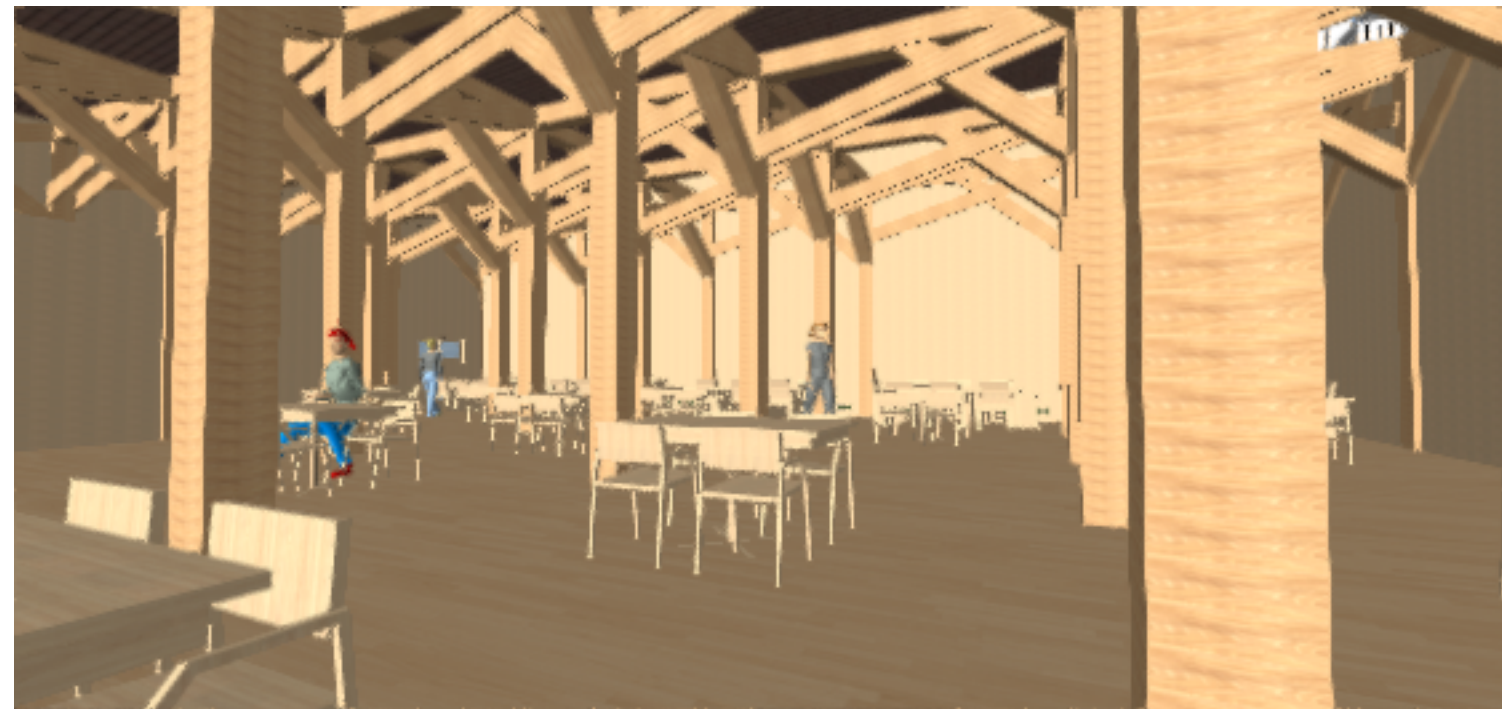
学習環境が人によって異なる観点に着目し、3つのスペースを提案する。

①個人学習スペース



1人で静かに勉強したい人のためのスペース。1席1席にパーテーションを設けることによって周囲が視界から遮断され、集中しやすい環境が整っている。

②グループ学習スペース



みんなで教え合って勉強できるスペース。テーブルと椅子をよせれば広い空間となるため、規模が小さいイベントや試験会場などにも利用できる。

③リモートスペース



リモートワークを行う場所。一つ一つのブースが個室になっているため周囲を気にせずに仕事ができる。ドアに使われているガラスは、代々木深町小公園の透明トイレと同じシステムを利用し、利用者がいないときは透明で、利用者がブースに入ると曇りガラスになるようになっている。

テナントスペース



テナントは外からも中の様子がわかるようにガラスを用い、外を楽しめるようテラス席も設置した。